



1 キリギリス

キリギリスやコオロギの仲間は、^{なかま}左右の^{さゆう}前ばねを^{まえ}こすり合わせて、^あなき^{こえ}声を出します。

キリギリスの仲間は、^{なかま}左ばねを^{ひだり}上にして(例外も^{れいがい}あるようです)こすり合わせます。(コオロギの^{なかま}仲間は、その^{はんたい}反対に^{かさ}重ね^あ合わせます。)

すると、^{しんどう}振動がおこり、それが^{ぜんたい}はね全体に^{つた}伝わっては^{ちゅうおうぶ}ねの中央部に^{はつおんきょう}ある^{はつおん}発音鏡(うすい^{まく}膜の部分)で、^{おと}音に^か変わります。^{おと}音は^{どう}はねと^{あいだ}胸の間で^{おお}大きく^{うつく}ひびいて、^{こえ}美しいなき声になります。



2 ゾウムシ

^{くち}口が^{なが}長く^{はな}ゾウの^{はな}鼻のようにみえることから、^よゾウ^きムシ^みと呼ばれています。^{なか}木の^{たまご}実の中に、^う卵を^{ほそなが}産む^{くち}ために、^{つか}細長い^う口を使います。^{たまご}産みつけられた^か卵から^{ようちゆう}ふ化した^き幼虫は、^み木の^{ないぶ}実の^た内部を^{せいちょう}食べて^{たいちょう}成長します。^い体長^{ちい}1cm以下の^{おお}小さな^{からだ}ものが^{おお}多いですが、^{からだ}体は^{かた}かたくて^{がんじょう}がんです。



3 トンボのエサ

トンボのエサは、^と飛んでいる^{むし}虫です。
トンボのえさの^と取り方は、^{かた}みごと^{くうちゅう}な空中^とキャッチです。

^{かた}まちぶせ型のトンボは、^{やす}休み^{ばしょ}場所にとまって^{むし}エサになる^ま虫を^{むし}待ちます。^{ちか}虫が^と近づくと、^とぱっと^{かた}飛び^{そら}たって^とすばやく^とつかまえます。

^{かた}たいくう型のトンボは、^{そら}空を^と飛び^たながら^とエサを^とさがし、^とつかまえると^と飛び^たながら^と食べて^としまいます。

